

「キヤサチ」  
CATCH

VOL. 82  
2016. 11



西東京市図書館

ヤングアダルト

YA による☆

共同編集部 推薦！

## 表紙にひかれました

### 『空色バウムクーヘン』

吉野万理子著 イシヤマアズサ装画  
徳間書店

四月から高校生の鏡池若葉<sup>かがみいけわかば</sup>は背が小さく、顔立ちもよく美人だったがお笑い芸人を目指していた。入学の初日、クラスで自己紹介をしている中、若葉は相方にむいている人を探していた。すると、一人インパクトのある女子がでてきた。彼女の名前は<sup>おおつきやよい</sup>大月弥生、ウエイトリフティング部に入部したいといっていた。しかし、この学校にはウエイトリフティング部なんてない。若葉はこのことをギャグと勘違いしていたのだ。

さっそく自己紹介が終わった後、弥生に話しかけ自分もウエイトリフティング部志望という嘘をつく。もちろん若葉はギャグだと勘違いして言ったのだが、なんと本当にウエイトリフティング部はあったのだ。若葉は入部するかわりに弥生に相方になってもらう。最初は嫌がっていた若葉だが、日に日にウエイトリフティングが好きになっていった。そして、ウエイトリフティング部のほかにも中学の卒業式に失恋した健太との恋、お笑い芸人を目指すための動画作りなど色々大忙しな若葉。一体若葉のお笑い芸人への道は近くなるのだろうか...？これは読んでからのお楽しみ。

この本の表紙絵は、イラストレーターのイシヤマアズサさんが描いています。色使いがとても鮮やかで綺麗で、物語にでてくる人物や物が良く見ると表紙に描いてあったりして読んだ後もおもしろいです。中に挿絵はありませんが表紙と少しずつつながっているの、表紙をちょくちょく見ながら読むとおもしろいです。

ぜひ、興味のある方は読んでみてください！



# 『のんびり VRMMO 記』 シリーズ

まぐろ猫@恢猫 著 まろイラスト  
アルファポリス



主人公のツグミはある日、双子の妹ヒバリとヒ  
ヴィアールエムエムオー リアルアンド  
タキに最新のVRMMOゲーム『REAL &  
メイク』の保護者役を頼まれ、プレイすること  
に。戦闘には向いていないツグミは生産職となり、  
妹達はそれぞれ限定職につきます。妹達が戦っ  
ている間、ヒタキは役に立つものを探して草むしり。

しばらく続けていると、可愛らしい蜘蛛の魔物が  
ひっくり返っていた！あわてて助け起こすと懷かれてしまい、フードの中に  
入ったまま出てこないので放置することに。

妹達が戦ってゲットした食材で料理することになったツグミは、持ち前の  
主夫力を発揮してパンやから揚げなど、おいしそうなものをたくさん作ります。  
作ったから揚げを妹達と試食しようと思ったら、何者かに奪われてビック  
リ！なんと今までフードの中で眠っていた蜘蛛の魔物がツグミの持って  
いたから揚げを奪って食べていたのです。から揚げが気に入った蜘蛛の魔物  
はツグミに懐きます。そこで、ツグミはスキルのタイムを使い蜘蛛を仲間  
にして「リク」と名付けます。こうしてツグミと妹達の「のんびりゲームライ  
フ」の幕が開いたのでした。

この本の表紙にはツグミと「リク」と双子の妹達とこの後に登場する美紗  
ちゃんの他にもスライムなどのモンスターがいるんです。裏表紙にもいたり  
するので、中に挿し絵が無い時表紙を見るとおもしろいですよ。この本に出  
てくる「リク」もそうですが、この後に登場する羊の「メイ」、猫又の「小  
麦」と「小桜」がとても可愛いんです。私は「メイ」が一番好きで、モフモ  
フしているのに自分より大きい大槌おおつちを使って戦うギャップがたまらないん  
です。みなさんもぜひ、お気に入りキャラを見つけてみてください！

# 『DEATH NOTE—ANOTHER NOTE』

『ロサンゼルスBB連続殺人事件—』

大場つぐみ原作 小畑健原作 西尾維新著  
集英社

文字列の配置が独特な背表紙に惹かれ、手に取ったのがきっかけでした。一般的な単行本より一回り大きい A5 サイズは、面と厚さのシルエットのバランスが取れ、正に「ノート」として手に収まります。真っ黒な表紙に浮かぶ銀色の文字は、DEATH NOTE と綴るだけでシンプルながらインパクト大。2 段構えの文字列や真横に来るページ表記などこだわりぬいた書式に、神聖な雰囲気醸し出す挿絵やフォントのデザイン。もはや「美しい」の域にあるこの本は、読む以外にも楽しみ方を秘めています。



©I.NISIO・T.OHBA・T.OBATA/SHUEISHA

「このノートに名前を書かれた人は、40 秒で死ぬ」というルールでお馴染みのデスノート。本作はその原作漫画「DEATH NOTE」を西尾維新がノベライズしたものです。

舞台はアメリカ。次々とする犠牲者のイニシャルが同じアルファベットのぞろ目であること、全ての室内の壁に人形が打ち付けられていることから名付けられたロサンゼルス BB 連続殺人事件を、名探偵 L が FBI 捜査官の南空ナオミに現場捜査を依頼することから物語は動き出します。そして道中、私立探偵「竜崎ルエ」と名乗る謎の男と出会ったナオミ。猫背にパンダ目、白シャツに洗いざらしのデニム。親指の爪をかじり、膝を抱え込んだ座り方から繰り出される優れた推理力は、ジャム瓶を一呑みすればナオミの感心を半減させ……。言わずもがな読者に「あの男」を彷彿とさせる彼は、しかし確実な助言の元、ナオミを事件の真相へと導いていきます。

完全スピンオフ＆オリジナル作品でありながら、巧みなタイミングでちらつく原作でお馴染みの人物やアイテムが、ファンにはたまりません。原作の映画化とホットな作者で話題の今日、本作刊行から 10 年が経って改めて読み直したい一冊です。

# いる？いない？ 生き物が出てくる本

## 『めたねこムーニャン』

山中恒著 理論社

皆さん、ねこは好きですか？好きという人もいれば、きっと好きではないという人もいます。好きな人の中には（もしかしたら好きではない人の中にも）、実は家でねこを飼っている、という人がいるかもしれません。それでは、あなたの家のねこは、どんなねこですか？

これから紹介する『めたねこムーニャン』は、アミちゃんという女の子の家で飼われているねこのお話です。「めたねこ？ムーニャン？なんだそれ？」と言う人もいるかもしれませんが、このタイトルは、アミちゃんの家を指しています。ムーニャンが名前で、めたねこというのはアミちゃんがつけました。さて、その意味はいったい何でしょう。

家では短く「ムー」と呼ばれるムーニャン。ある日、アミちゃんがムーと留守番をしていると突然、声をかけられました。家にいるのは自分とムーだけ。驚きながらムーに話しかけると、やっぱり返事が返ってくる。実は、ムーは人と話せるねこだったのです！それを知ったアミちゃんは「ねこのくせに」「なまいきよ！」と言い返します。ムーもさらに言い返し、その上とんでもない行動に。一人の女の子と一匹のねこのヒミツのおはなし。

短いお話がたくさん入っているので、休み時間や寝る前、勉強の合間にも、ちょっとした時間に一話ずつ読むことができます。一気に読んでも、もちろん楽しい。どのお話もくすっと笑えて、アミちゃんとムーの掛け合いはとてもおもしろい。アミちゃんのこと大好きなムー。びっくりするようなこともよくするし、なによりドジで食いしん坊な困ったねこ。アミちゃんのためだったはずなのに、逆にアミちゃんを困らせることもしばしば。悪いのは、アミちゃん？それともムー？彼らのちょっとおかしい日々を覗いてみてください。あなたの周りにいるねこも、実は意外な特技があるかも？

# 『白い虎の月』

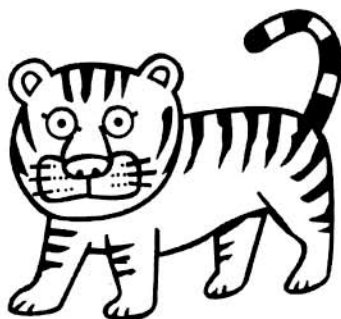
コリーン・ハウック著 松山美保訳 ヴィレッジブックス

主人公 ケルシー・ヘイズは、大学の学費をまかなうために、夏休みにサーカスのアルバイトを始める。そこで、一頭のホワイトタイガー・ディレン（通称レン）との出会いを果たす。堂々とした態度でありながらも、どこか寂しげで悲しそうな雰囲気をまとっているレン。ケルシーはこの虎に不思議な魅力と親近感を覚えて、強く惹かれていく。

アルバイトを始めて一週間がたつころ、ケルシーはわけもなくレンに触れて、「あなたが自由になれるといいのに」と願った。数日後、インド人の裕福な老紳士、アニク・カダムが現れて、レンを買い取り母国の保護地区に返すという話をサーカスの団長と取り付けた。すでにレンから離れがたくなっていたケルシーは、カダムからのインドへの付き添い話に誘われるまま、一緒にインドへ行くことになった。しかし、インドに着いた時からく虎の呪い<sup>タイガーズ・コース</sup>を解くための二人の冒険が始まっていくことになる。

このシリーズは、著者のデビュー作。最初は、電子書籍での自費出版だったそうで、口コミやネットでの人気に後押しされ、2011年にアメリカで刊行、またたく間にベストセラーとなった。現在、日本では全四部作の第二巻までが刊行されていて、アメリカでは映画化も決定している。

インドのジャングル奥地でディレン本人から明かされることになった呪いの正体。果たしてそれはどんな呪いなのだろうか？ケルシーとレンとのロマンスは、どのように進展していくのだろうか？この本は約600ページもあるが、日本の恋愛物に飽きてきてしまっている人は、少し趣向を変えて一読してみるのはいかがだろうか？



## 『93 番目のキミ』

山田悠介著 文芸社

みなさんは生物と言われて何を思い浮かべますか？虫だったり、犬だったり、猫だったり、人それぞれですね。今回の話の中で登場してくる生物はロボットです。ロボット？生物じゃないと思う人もいるでしょう。でもこの本を読んでもみると、少し違う考えを持てるかもしれません。

この本は、主人公、植木也太<sup>うえきなりた</sup>がシリウス自動車の発売したスマートロボットⅡ、通称「スマロボⅡ」を買う話です。スマロボⅡは三年前に発売された二足歩行型ロボット、スマロボの新型です。也太はこれを祖母にもらったお金で買い「シロ」と名付けます。也太はある日シロを連れてお見合に行きます。そのお見合の中で佐竹都奈<sup>さたけと</sup>と出会い少しずつ也太が変化してきます。

この話はこの後に、佐竹さんの弟、和毅<sup>ともき</sup>と出会います。和毅と出会い少しずつ変わって行く也太……。とその時佐竹さんの弟、和毅が通っていた病院で爆発が！爆発の原因は「スマロボⅡ」。そしてその爆発が原因で和毅は右足を失ってしまいます。今までできたことができなくなってしまった和毅、その中也太が選んだ選択とは！？

この話は、スマロボⅡが中心の物語です。現代でもいずれ私達がロボットと共に生きる社会が待っているのかもしれません。ロボットが好き！山田悠介の本が好き！おもしろそう！と思った人はぜひこの作品を読んでみてください。

CATCH  
共同編集者募集！！

来年度活動する、CATCHの編集者を募集します。  
任期は1年間（平成29年4月から30年3月まで）で、その間に発行するCATCH3号分の編集を担当してもらいます。  
詳細については、12月以降に図書館のHPやポスターで確認してね！



# 「いい人ランキング」

吉野万理子 著      あすなろ書房

あなたは、『いい人』だと言われることはありますか？

中学二年生の桃は、クラスの『いい人』ランキング第一位に選ばれます。急に注目を浴びるようになり、期待にこたえなければと、『いい人』らしく行動するようになります。面倒な日直の仕事を引き受けたり、授業のノートをみんなに回したり、クラスメイトたちの飲み物を買に行ったり。その内、周りに無視されるようになって、桃は自分がいじめられていることに気づきます。妹の鞠に紹介してもらった「師匠」・尾島圭機のおしまけいきアドバイス通り行動すると、いじめはおさまりませんが、今度は桃いじめの中心人物だった沙也子が、いじめのターゲットになります。尾島圭機は「自業自得」だと言いますが、いじめが無くなると思っていた桃は納得できません。

誰にだって二面性がある。『いい人』一辺倒な人なんていない。そう思った桃がとった行動とは？いじめという一見重そうなテーマだけど、どこかマイペースな登場人物たちに惹きつけられ、一気に読めてしまう物語です。

## 編集後記

お久しぶりです。私は最近、動物に触れてないので「ネコカフェ」というものに行きたいと思、ています。皆さんは、どうでしょうか。いやされるもの、身近に刺さる冬はモフモフしたものにやされてください(笑)      リいな

最近 月がきれいに見えます  
現実逃避のせいでしょうか  
月といえば「ツキウタ。」にはま、てます  
水無月 くん と 霜月 さん 推しです、  
桜媛

みなさんは、最近、何をしていますか？  
僕は、漢検勉強をしています。  
試験も近くなってきていてとても  
あわてて勉強しています。  
みなさんもぜひ漢検を受けてみて  
ください。

新

今回の会議中にカギについている  
ルービークキューブをいじっていたんだ  
けど...。なかなかそろわない(><)。  
誰かできる人来てくれませんか...？  
完成させてくれ(ノック)

mil.